南あわじ市「防災教育」全体構造図

～自ら生き抜く、共に生き抜く、未来を生き抜く～

南あわじ市 Minami Awaji City Web Site

令和５年１１月２７日ver.

目　標

○自らの命は自らで守る力を身に付ける従来の安全教育に加え、**人としての 生き方・あり方**を考える防災教育を推進する。

○**児童生徒自らが**、将来的にわたって**主体的に**南あわじ市の**防災に関わり**、**協働して**安心・安全な**まちづくりに貢献**しようとする意識を高める。

「防災」は、どのように命を守るのかということいわゆる安全教育（災害安全）のイメージが強いが、南あわじ市の防災教育は「人の生き方」や「やさしさ」にふれることを通して自分の生き方を考えるというプロセスを通した「学び」と「成長」が感じられるキャリア教育の要素も併せ持っている。

防災ジュニアリーダー養成事業

①南あわじ市防災ジュニアリーダー認定講座【初級】

元宮城県立石巻西高等学校長の齋藤幸男先生による避難所運営ワークショップの実施。行政や教員グループとアイデアを出し合い**避難所における共助**について考えることができた。

②南あわじ市防災ジュニアリーダー認定講座【上級】

大川小学校をはじめ震災遺構を訪問。現地の方、**一人ひとりの東日本大震災**に触れるとともに、当時の小中学生の共助の行動を知り、自分たちにできることを再度、考えるきっかけとなった。

③防災パートナー協定の締結

南あわじ市防災パートナーシップ協定を結んだ学校同士による**アクションプランの作成**。協定締結後は必ず本部役員から全校生徒に報告会を実施している。

④防災出前授業の実施

教育長や舞子高校の防災環境科の生徒による出前授業を実施。災害安全のノウハウだけではなく、**人の役に立つことの価値**を知っている人との出会いの機会となっている。

社会参画の体験を通して
子ども（教員）の心に火を灯す

没頭　自立　発見　感動

ホンモノとの出会いを通して
子ども（教員）の心に火を灯す

発展する南あわじ市の防災教育のかたち

①主体的・協働的に取り組む活動

・東北研修報告会

学校に戻り、東北研修での学びを報告。**企画から実施**まで、自分たちで行った。

・ユース防災プロジェクト

学生が中心となり企画運営する防災教育事業。ワークショップを企画したり、市の防災訓練等に対する提言などを行った。

・パートナー協定校の連携による募金活動

南あわじ市の中学生がトルコ・シリア大地震被災地支援へ義援金届ける YouTube2023/03/27

②自治体と連携した防災教育

・子どもたちとともに作り上げる地域防災訓練

それぞれの校区において**地域住民を巻き込んだ防災訓練**を子どもたちも一緒になって企画運営する。避難所設営をしたり、地域の防災に関して住民と意見交流の場が生まれた。

南海トラフ巨大地震に備える　南あわじ市で総合防災訓練・YouTube2021/11/21

③行政も学ぶ防災教育研修会

・南あわじ市防災教育研修会
・市役所と連携した拠点部会の開催

南あわじ市の防災教育の推進に向けた研修会を行政職員も一緒に参加。拠点所における施設見学だけではなく、南あわじ市の防災教育の意味や価値を考えるきっかけとなった。

④科目を超えて進められる防災教育

・自然学校における「防災プログラム」の実施
・全教員が取り組む一人一防災の実施

アンケート結果から児童生徒や教員が感じている「８つの学ぶ楽しさ」

- ☑「わかる」「できる」楽しさ
- ☑考えを工夫し、創造する楽しさ
- ☑困難なことにもチャレンジする楽しさ
- ☑仲間と協働してやりとげる楽しさ
- ☑ふるさとをよりよく知る楽しさ
- ☑思いや考えを表現する楽しさ
- ☑本物にふれる楽しさ
- ☑夢や志を見つけ、社会に貢献する楽しさ

防災教育協定校

国立大学法人 兵庫教育大学
国立大学法人 鳴門教育大学
国立大学法人 宮城教育大学
兵庫県立 淡路三原高等学校
兵庫県立舞子高等学校 Hyogo Prefectural Maiko High School

南あわじ市の防災教育を支えてくださっている応援団

武田 真一（たけだしんいち）
311いのちを守る教育研修機構
統括プロデューサー

齋藤 幸男（さいとう　ゆきお）
元宮城県立石巻西高等学校長

佐藤 敏郎（さとうとしろう）
「大川伝承の会」協同代表